

距離(km)			問 題		正解率
クラス	ダンガン	エンジョイ			
スタート～1CP	20.12	20.1	Q-A	21回または、20回	59%
1CP～2CP	5.60	5.6	Q-B	5つ(5路線)	77%
2CP～3CP	7.02	7.0	Q-C	徳川家康 山内一豊	23%
3CP～4CP	14.06	14.1	Q-D	0基	9%
4CP～5CP	3.75	3.8	Q-E	巴波川の氾濫	95%
5CP～6CP	9.54	9.5	Q-F	花桶かつぎ	59%
6CP～7CP	4.42	4.4	Q-G	小山市	100%
7CP～8CP	4.20	4.2	Q-H	54%	91%
8CP～FCP	10.17	10.2	Q-I	58cm	82%
			Q-J	ダンパー開閉器	82%
			Q-K	延命院	91%
			Q-L	トイレ・休憩室	91%
			Q-M	カメラ台	100%
	78.88	78.9	Q-N	正泉、悦重、北尾重光	55%
			Q-O	65年10ヶ月	50%
			Q-P	7ヶ所	100%
			BQ-a	6図先	95%
			BQ-b	昭和16年の巴波川の氾濫	86%
			BQ-c	(元)渡良瀬遊水地湿地資料館	95%
			BQ-d	スタート	100%
			BQ-e	田口和美博士の没後100年	100%

## 【解説】 コース

コース案内の通り、渡良瀬遊水地内の予定していた道が通行止めでしたので、一部コースが重なってしまいましたが、遊水地内だけでなくその周辺にも足を延ばしましたので、少し変化があるコースになったのではないかと思います。

渡良瀬遊水地が作られた目的(河川の氾濫防止)を改めて、皆さんに判ってもらえるよう1CP、2CPの小さな公園にもチェックポイントを置きました。ハツ場ダムもやっぱりいるのかな・・・？

## 【解説】 距離

標高差が20m程しかないフラットなコースで、ワインディングも無かったので、試走車との駆動の違い、運転者のくせの違いは出にくかったと思います。一桁減点が約半数の10チームいらっしゃいました。

30図先が開催早々工事による通行止めになり、何人かの方が迂回されました。工事終了後、道路が以前のルートからずれているように感じられたと思いますが、12月29日に確認したところ、試走時と同じルートでした。ただ、6～7CP間は距離の割に皆さんの減点が多かった様です。

また、2～3CP間の7図入り口も、車止めが出ていて通行できない時があり、その迂回の処理をミスされたチームや、ODでのODラインから再スタートライン間の距離を引き忘れられたチームもいらっしゃいました。勿体ないです。

## 【解説】 クイズ

クイズも渡良瀬遊水地が作られた目的が判ってもらえるような問題を入れてみました。

また、今回はコースが平坦地で、運転の緊張感が欠けるため、緊張感を持ってもらう(慎重に解いてもらう)クイズをいくつか設定してみました。

A	<p>「とりせん駅南店前」のバス停は、バス停番号が「岩37、39」になっているように、栃木駅に向かうバス、栃木駅から来るバスの両方が停まるという事と、東回りの内3本が栃木駅止まりという事に気が付いて頂けたら簡単だったと思ったのですが、意外と正解率が低かったです。西廻り4本と東廻り5本の計9本が2回停まり、栃木駅止まりの3本が1回停まりますので、合計21回停まることになります。</p> <p>(A訂正 追記) 作成者は、バス停の時刻表から、上記の通り栃木駅止まりのバスは3本と解釈したのですが、6時台のバス2本(20分発、50分発)とも、栃木駅止まりというご指摘を頂きました(下記URL)。20回の答えの方が7名いらっしゃいましたが、7名の方は( )書きの(栃木駅止まり)が6時台の2本の説明と考えられたのでしょうか…。21回の答えの方が6名(作成者を含むと7名)だったので、ほぼ同じ数でした。という事は、バス利用者も半数以上の方が、時刻表の表現を正しく理解していないのだろうな…。それにしても判りにくい表記だと思えますね。</p> <p>下記URLの時刻表を確認すれば、20回が正解で、21回は不正解になりますが、問題が現地のバス停の時刻表で答えを求めているので、20回、21回を正解とします。</p> <p><a href="http://www.city.tochigi.lg.jp/ct/other000045000/10bus iwafune h2904.pdf">http://www.city.tochigi.lg.jp/ct/other000045000/10bus iwafune h2904.pdf</a></p>
B	<p>緊張感を持ってもらう問題の一つです。</p> <p>路線図には、「羽川線」「間々田線」「市民病院線」「思川駅線」の4つの路線名が書かれ、路線の線が描かれていました。で、答えは「4つ」と解答して頂くことを狙いました(笑) もう一つ、このバス停に来るバスの路線図が、名称は判りませんが路線が描かれていますので、合計5つになります。</p> <p>ちなみに、路線名はそのものズバリ「道の駅線」だそうです。</p> <p><a href="http://www.city.oyama.tochigi.jp/uploaded/attachment/1849.pdf">http://www.city.oyama.tochigi.jp/uploaded/attachment/1849.pdf</a></p>
C	<p>建物の名前が「小山評定館」でしたので、問題文の出来事とは「小山評定」という事になります。</p> <p>この問題も、「小山評定」についての説明文をよく読み下して頂く必要がありました。</p> <p>説明文には、何人かの武将の名前が出てきましたが、「小山評定」と言われている軍議を開いたのが【徳川家康】で、その場で建議したのが【山内一豊】ですので、この二人が正解です。</p> <p>上杉景勝、石田三成も答えられた方もいらっしゃいました。この二人がいたから小山評定につながったのですが、小山評定には直接関係していませんので、不正解とさせていただきます。</p>
D	<p>この問題も緊張感を持ってもらう問題の一つで、作成者としては、『レッドカード』(=正解者0)を狙った問題でしたが、残念ながら(笑)、2名の方が正解されました。</p> <p>「寒川古墳群蹟」の説明文には「5基の前方後円墳と7基の円墳があったが、現在は毘沙門山古墳(前方後円墳)を残すだけ」と書かれていました。で、答えは「1基」と答えて頂く狙いでした。</p> <p>ところが、実際の古墳の形は「前方後円墳」でしたか？ 形で気が付かれた方もいらっしゃるかな…？</p> <p>「寒川古墳群蹟」の説明板のすぐ横にあった小さな説明看板に、「前方部と後円部の南側から南西部の裾部が削平されている」と書かれてありました。</p> <p>問題文が、『現在も当時の形が残っているのは何基か？』ですので、正解は「0基」になります。</p> <div data-bbox="893 974 1500 1411"> <p>この古墳は前立式(前方後円墳)で、墳丘は南東に面している。前方部と後円部の南側から南西部の裾部が削平されているが他の部分は原形をほぼ保っている。古墳の正確な規模は不明であるが、周辺確認調査によると推定全長41.2m、後円部径34m、高さ5.18mで周濠幅は約1.2mである。この時の調査で周濠内から壺形、甕形、高杯形の土師器や円筒埴輪片が出土しており、これらの出土遺物から築造時期は5世紀後半と考えられる。</p> <p>小山市教育委員会</p> </div>
E	<p>これは、問題なかったと思います。</p> <p>上記の通り、渡良瀬遊水地が作られた目的が判ってもらえる問題の一つでした。</p>
F	<p>問題の写真の物置には答えはありませんでしたが、立て札風の胸形神社の説明板にあった「花桶かつぎ」に使われる御輿でした。</p> <p>「初天神」、「天満宮祭」のお答えが複数ありましたが、御輿を使う行事として特定できないので不正解とさせていただきます。</p>
G	<p>これは、ボーナスクイズBQ-bのための問題でした。</p> <p>市が所有者になるくらい、申込者が少なかったのかな…？(笑)</p>
H	<p>感想に書いて頂いた方もいらっしゃいましたが、群馬県の死者が多いのに驚いてクイズにしました。</p> <p>これがトラウマになり、ハッ場ダム建設に走っているのでしょうか…。本当に要るのかな…。</p>
I	<p>模型の説明に、スケールが1:60で、煙突高さが約34.5mと書かれていましたので、計算すると簡単でした。</p> <p><math>(34.5 \times 100) \div 60 = 57.5</math> となり、四捨五入すると58cmになります。</p>
J	<p>この問題も緊張感を持ってもらう問題の一つでした。</p> <p>この前にあった説明板は、「ダンパー」についての説明でした。</p> <p>その中に「ダンパー開閉器」の名称が出てきました。</p> <p>最後まで説明文を読む必要がありました。</p> <div data-bbox="1117 1926 1500 2150"> <p>ダンパー -煙の流れを調節-</p> <p>Dampers for controlling air flow</p> <p>煙道から集煙室へ流れる煙の調節をする開閉装置です。ダンパー16基に対して、ダンパー開閉器は3台残っています。</p> <p>Flow of smoke from the flues to the central flue is controlled by opening and closing the dampers. Of sixteen dampers, three damper controls remain.</p> </div>

K	これは、特に問題なかったと思います。時間が許せば散策してクイズネタを探したかったですが、今回はパスしました。
L	農産物直売所など営業時間が掛かれた施設だけに注目される方がおられないかな？と思い問題にしました。数人の方、ありがとうございます(笑)
M	今回の準主役の「三県境」ですが、訪れてみると案内看板も無く、説明看板も手作りという、シンプル極まりない場所で、逆に驚きました(笑) 手書きの看板もネットで一杯出てくるためクイズネタがなく、この様な設問にしました。実際に使われた方はいらっしゃいますか？ 私は使いましたが、時間的に完全に逆光で、顔も判らない、シルエットでした…(^-^)
N	このクイズも最後まで説明文を読んで頂く必要がありました。【天井画】を描いた絵師は「正泉」「悦重」で、【絵馬】を描いた絵師は「北尾重光」でした。
O	案内板には、「海老瀬村役場跡」とあり、【明治22年4月1日誕生】とありました。 また、この案内板は、板倉町町制施行60周年記念事業で、【平成27年2月1日に設置】されたものでした。西暦では、海老瀬村が誕生したのが【1889年4月1日】で、案内板が設置されたのが【2015年2月1日】になります。これらの情報から、板倉町町制が施行されたのは、2015年2月の60年前の【1955年2月】という事になります。よって、海老瀬村は【1889年4月】から【1955年2月】までの「65年10ヶ月」となります。 <a href="https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%B5%B7%E8%80%81%E7%80%AC%E6%9D%91">https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%B5%B7%E8%80%81%E7%80%AC%E6%9D%91</a>
P	これは、見落としようがないので問題なかったと思います。
	X問題のキーワードは、「renga(レンガ)」でした。
B-a	意外と難しかった様です。再走された方、ドライブレコーダで見つけた方もいらっしゃる様です。Googleストリートビューの撮影時にははっきり見えるのですが、手前に物が増えて少し見にくかったですね。 <a href="https://goo.gl/maps/ZhqdmzbzmaRz">https://goo.gl/maps/ZhqdmzbzmaRz</a>
B-b	1CPのQ-Gの近くにあった公園名の石碑にありました。 いつ起こったか(昭和16年)の記載がない答えは不正解です。
B-c	4CPの渡良瀬遊水地湿地資料館の前にありました。4CPにはクイズは無かったので、カードをもらわなかった方は見つけられなかったかもしれませんね。 現在は、栃木市藤岡遊水池会館の中に移っているので、「元」かもしれませんが、不問としました。
B-d	スタートかODの道の駅にあるのは明らかでしたね。
B-e	6CPにありました。頭部だけ立体で胸部は薄っぺらかったので、Q-Lの方からは判りづらかったかもしれませんね。Q-Lの案内板にもイラスト付きで説明されていたので、これで気付いた方もいらっしゃるかもしれませんね。